

# IV 国 語

I 次の文章は、「天声人語」（令和5(2023)年2月12日 朝日新聞朝刊)です。読んで、下記の①～⑥の問題に答えなさい。原典では▼で示されていた段落を、改行した。○数字は、段落番号を示す。なお、問題作成のために、句点、ふりがなをふった部分がある。

①NHK「みんなの手話」で講師をつとめた<sup>よないやまあきひろ</sup>米内山明宏さんはかつて、使い慣れた手話をろう学校で禁じられた。当時はそれが当たり前だった。みっともないと<sup>しか</sup>叱られ、口の形をまねて声を出す訓練を受ける。でも自分には聞こえない。反発<sup>i</sup>から小学5年で声を出すのをやめた。

②運命の決断だったというエピソードを記した著書『プライド』で、米内山さんは<sup>ii</sup>高らかに言う。「ろう者は、手話という日本語とは異なる言語をもった少数民族のようなものである」。手話の魅力を広めて、ろう者であることに誇りを持つと説き続けた。ろう社会の<sup>iii</sup>カリスマが先月、70歳で亡くなった。

③道なき道を切り開いた人生だった。20代で日本ろう者劇団を発足させ、40代では映画「アイ・ラブ・ユー」の共同監督をつとめた。2008年には、すべてを手話で教える初のろう学校、明晴学園の開校に携わった。

④<sup>iv</sup>だから、だろう。「ろう者だから無理だ、<sup>で</sup>出来ない<sup>き</sup>と考える必要は一切ない。壁を乗り越え、打ちやぶり、新しい世界を創造してほしい」。若い世代の背中を押した。

⑤初めてお会いしたのは20年以上前になる。あごひげと、張り出したおなか。視線には、ろうに無理解な社会と<sup>たいじ</sup>対峙する鋭さがあった。同時に、存在感ゆえに人々が集まってくる大きな<sup>き</sup>樹のような人だった。

⑥<sup>v</sup>突然倒れてしまった樹を前に多くの涙が流されただろう。人さし指と親指でしずくをつくり、目から下へ。涙がほおをつたう描写は、「悲しい」という意味の手話になる。

1 下線部 i 「から」と意味用法が同じものを、下の中から一つ選びなさい。

1. いろいろ言い訳をして、その場から逃れようとした。
2. 値段が高いから、買うのはやめておこう。
3. 妙なきっかけから、彼と関わるようになった。
4. この薬は、いろいろな薬草から作った。

2 下線部 ii 「高らかに」の意味として最も適切なものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 自信をもってはっきりと
2. 遠くまで鳴り響くように
3. しっかり声を張り上げて
4. 思い切ってきっぱりと

3 下線部 iii 「カリスマ」の意味として最も適切なものを、下の中から一つ選びなさい。

1. ある専門分野の情勢を分析する人
2. 超人的な力を感じさせ、指導力を発揮する人
3. 複雑な組織や企画をうまくまとめて運営する人
4. 世論に影響力を持つ人

4 下線部iv「だから、だろう。」とあるが、この文が表す内容として最も適切なものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 明晴学園の開校に携わったから、若い世代の背中を押す言葉を残したのだろう。
2. 若者を育てる仕事をしてきたから、若い世代の背中を押す活動をしたのだろう。
3. ろう者だからといって諦めなかったから、若い世代にもそれを伝えたのだろう。
4. 自身が道なき道を切り開いてきたから、若い世代の背中を押してきたのだろう。

5 下線部v「突然倒れてしまった樹の前に多くの涙が流されただろう。」で使われている表現技法と、同じ技法が使われている文を、下の中から一つ選びなさい。

1. 表参道には、流行のコートやブーツが歩いていた。
2. 夕焼け空に飛ぶカラスの群れが、胡麻ごまをまいたようにはっきり見える。
3. 北風が、人々のコートえりの襟をぎゅっと閉じさせる。
4. 例年のように冬が来て、街路樹のいちようはほうき箒ほうきになった。

6 この文章を三つのまとまりに分けるとどうなるか、最も適切なものを、下の中から一つ選びなさい。

1. ①／②③④⑤／⑥
2. ①②／③④／⑤⑥
3. ①②／③／④⑤⑥
4. ①②③／④⑤／⑥

Ⅱ 下記の7～20の問題に答えなさい。

7 現代日本語の音韻についての説明で**正しくないもの**を、下の中から一つ選びなさい。

1. ハ行音のハの子音は、ヒ・フの子音と異なり、ホの子音と同じである。
2. タ行音のツの子音は、テ・トの子音と異なり、チの子音と同じである。
3. ヤ行音のヤ・ユ・ヨと、ワの子音は、半母音である。
4. ンの発音は、後にくる音によって変化する。

8 下線部の子音の発音が同じ組合せを、下の中から一つ選びなさい。

1. ぎゅうにゅう（牛乳）—— にゅうぎゅう（乳牛）
2. がっかい（学会）—— こうとうがっこう（高等学校）
3. ぎょうむ（業務）—— のうぎょう（農業）
4. ごがく（語学）—— こくご（国語）

9 現代日本語で広く用いられている共通語のアクセント（東京アクセント）で、下線部のアクセントの型が他の三つと**異なるもの**を、下の中から一つ選びなさい。

1. 山がそびえる。
2. 水があふれる。
3. 川が流れる。
4. 土が堆積する。

10 下線部の言葉の使い方が適切なものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 彼は小さい頃から苦勞しているのに、世間ずれしていない。
2. 入院中の祖母が水菓子が食べたいというので、冷えたゼリーを届けた。
3. そんなうがった見方をしないで、少しは素直に受け止めてみようよ。
4. 一人で留守番をしながら、テレビのお笑い番組を見て爆笑した。

11 二つの表現の意味が、似たものの組合せとなっていないものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 相容れない —— わかり合えない
2. <sup>い</sup>慚愧に堪えない — 悔恨する
3. 額に汗する —— 面映ゆい
4. 銘記する —— 心に刻む

12 次の文の下線部「カンシン」と漢字表記が同じものを、下の中から一つ選びなさい。

消費者も「SDGs」（国連がかかげる持続可能な開発目標）へのカンシンや環境問題への興味が高まり、意識がかわってきています。

1. カンシンを買う。
2. カンシンできない。
3. カンシンを持つ。
4. カンシンに堪えない。

13 熟語の組立てが他と異なるものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 因果応報
2. 玉石混淆こう
3. 吳越同舟
4. 泰然自若

14 「売手が買手に対して、正確な適用税率や消費税額等を伝える適格請求書」を表す語を、下の中から一つ選びなさい。

1. インセンティブ
2. インボイス
3. タックスフリー
4. タックスヘイブン

15 ( ) の中に同じ表現が入らない組合せを、下の中から一つ選びなさい。

1. 折り合いを ( ) —— けじめを ( )
2. 巻き添えを ( ) —— 肩すかしを ( )
3. 采配さいを ( ) —— 弁舌を ( )
4. 目を ( ) —— 磨きを ( )



16 次の文の説明として正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

見てはならないものを見たとき、<sup>い</sup>敬虔<sup>けいけん</sup>な心もちと、そう云う心もちの意識から来るある満足とが、多少の芝居気で、誇張されたような、甚だ、複雑な表情である。

(芥川龍之介「手巾」より)

1. 「敬虔な心もちと」は、「複雑な表情で」と並立している。
2. 「多少の芝居気で」は、「複雑な」を修飾している。
3. 「誇張されたような」は、「甚だ」を修飾している。
4. 「複雑な表情である」にかかる主語は、この文にはない。

- 17 次は、漢字「行」について、漢和辞典の解説を抜き出したものです。( )  
にあてはまる語の組合せとして最も適切なものを、下の中から一つ選びなさい。

「行」

部首 ( ア )

音 コウ — 漢音

ギョウ — 呉音

アン — ( イ )

解字 ( ウ )。古い字形は、四辻の形にかたどり、とおり道の意を表す。

※図は、著作権処理中の為、省略  
(聴力障害者情報文化センター)

- |              |       |      |
|--------------|-------|------|
| 1. ア：にんべん    | イ：慣用音 | ウ：形声 |
| 2. ア：ぎょうがまえ  | イ：唐音  | ウ：象形 |
| 3. ア：はねぼう    | イ：慣用音 | ウ：会意 |
| 4. ア：ぎょうにんべん | イ：唐音  | ウ：指事 |

- 18 「現代仮名遣い」(昭和 61(1986)年内閣告示第 1 号 (平成 22(2010)年一部改正)) に照らして、ひらがな表記にしたとき、「ぢ」を含む語を、下の中から一つ選びなさい。

1. 布地
2. 間近
3. 筋子
4. 湯治

19 次は、令和元(2019)年10月25日関係府省庁申合せとして出された「公用文等における日本人の姓名のローマ字表記について」からの抜粋である。

( )にあてはまる語句の組合せとして正しいものを、下の中から一つ選びなさい。

- 1 各府省庁が作成する公用文等における日本人の姓名のローマ字表記については、差し支えない限り「(ア)」の順を用いることとする。
- 2 各府省庁が作成する公用文等のうち、次のものを対象とする。なお、国際機関等により指定された様式があるなど、特段の慣行がある場合は、これによらなくてもよい。

(中略)

- 3 各府省庁が作成する公用文等において日本人の姓名をローマ字表記する際に、姓と名を明確に区別させる必要がある場合には、(イ)を全て(ウ)とし(中略)、「(ア)」の構造を示すこととする。

(以下略)

- |          |     |       |
|----------|-----|-------|
| 1. ア：名一姓 | イ：名 | ウ：小文字 |
| 2. ア：名一姓 | イ：名 | ウ：大文字 |
| 3. ア：姓一名 | イ：姓 | ウ：小文字 |
| 4. ア：姓一名 | イ：姓 | ウ：大文字 |

20 敬語の使い方が適切なものを、下の中から一つ選びなさい。

1. 明日の午前中に、会社に行かさせていただきます。
2. お手元にチケットをご用意してください。
3. 社長、何時ごろ会社にお戻りになりますか。
4. 早速にご執筆いただきありがとうございます。